

nakcazawa

『ヤバい経済学』の第2回プレゼン（尾崎、高本、西川）に関するスレッドです。26日（日）くらいをメドに書き込んでください。

新谷

戦闘用飛行機のデータからわかることが予想と違っていたり、オゾン層の破壊が地球温暖化に関与していないのに結びつけて考えてしまっているなど、意外にも問題の本質を見抜くということは難しいのだと感じた。情報の非対称性によって思考の操作が行われてしまう例も面白かった。

西川茉莉

教科書から飛び出して新たな議題について考えることで新鮮味が生まれてプレゼンする側ですがとても楽しかったです。

棗田進太郎

今回のプレゼンでは3人ともが伝えたいことが明確であったのでそれぞれ理解しやすく、フロア参加型だったので楽しみながら学びました。特に最後の貧困者の割合は減っているが、母集団が増えているので人数的には増加しているというところが、確かにと思わされたので情報の見方には注意して日常をすごしたいなと思いました。

清水陸人

今回のプレゼンは、教科書の内容とはまた違うもので、聞いてておもしろかったです。オゾン層と地球温暖化がつながっているものだと勘違いしていたので、プレゼンを聞いてなるほどなと思いました。

川端 真由

今回のプレゼンを通して、情報を誤って結びつけてしまうことがよくあるとわかった。

情報を間違って解釈したままにならないよう日頃から気をつけようと思った。

高本恭吾

尾崎くんの生存者バイアスの話もふくめて、教科書とは少し逸脱したが、伝えたいことはプレゼンを通して発信できたと思えた。

中々、データをちょっと立ち止まって見るのは大切であるが、意識しないと中々出来ないことだと思うので、そういったことを意識することを少しでも頭の片隅に入れて過ごしてもらえれば、と思う。

個人的には、伝えたいことを言葉にすることが自分はまだ出来ていないと感じ、技術不足を感じた。

中井 美裕

3人とも言いたいことがまとまっていて聞きやすかったです。先入観にとらわれて物事を判断したり、関連のないことを勝手に結びつけて考えたりするのをやめるには、情報を正しく見るのが大切だと感じました。

尾崎星太

本で出てくる話以外をするのは初めてだったので少し不安であったが、盛り上がっていて安心した。

増田光樹

日常の数値やニュースで言っていることを全て信じきってはいけないことを学んだ。これからは情報に惑わされずリテラシーを持って考えていきたいと思った。また、本の内容以外で長く解説していたのでアウトプットがしっかりできていて素晴らしいと思った。

崎山綾香

今回のプレゼンは教科書以外の内容も話してたのでプレゼンに参加してて楽しかった。飛行機の例とか最後に話してた貧困者の例から情報を正しく見ることの大切さがわかり、今後気をつけようと思った。

金山恵大

今回のプレゼンでは普段のデータや数字からそのまま信じてはいけないと思った。また、飛行機の問題がとても考えさせられ、おもしろかった。

白澤卓也

興味深い内容が多くて、最後まで飽きずに参加できてよかった。さまざまな例を使っていて楽しかった

つちやよしき

内容も面白く、考えさせられるものが多かった。

データのみならず、集めた過程(飛行機)やデータの背景(総人口)等による影響も大事であり、またデータを見せる側は過失のみならず故意にそれらを隠したりすることすら可能であるということに注意しなければならないと思わされた。

nakcazawa

グループワークが少なく、プレゼンターの話聴く比重が高かったわけですが、それがまったく気にならないほどプレゼンターの話に引き込まれ、考えさせられるところの多い、たいへんすぐれたプレゼンだったように思います。

僕自身が『ヤバい経済学』を読んでいちばん強く印象に残ったのは、西川さんが扱った銃のある家とプールのある家の話で、制御できない危険ほど不安を煽り高く見積もられるという点は、マーケティングにも活かせる非常に重要な経験的事実で、ぜひとも皆さんの頭にとどめておいて欲しいです。

尾崎くん・高本くんはテキストの外に出て、発想豊かなプレゼンを展開してくれましたが、立場上テキストを精読している僕にとって想定外の展開で、特に尾崎くんの生存者バイアスに絡めたクイズは考えるのがたいへん楽しかった。三人がそれぞれ責任をもって自分のパートを担当しており、それぞれのレベルが高く、本当に良いプレゼンでした。感心しました。